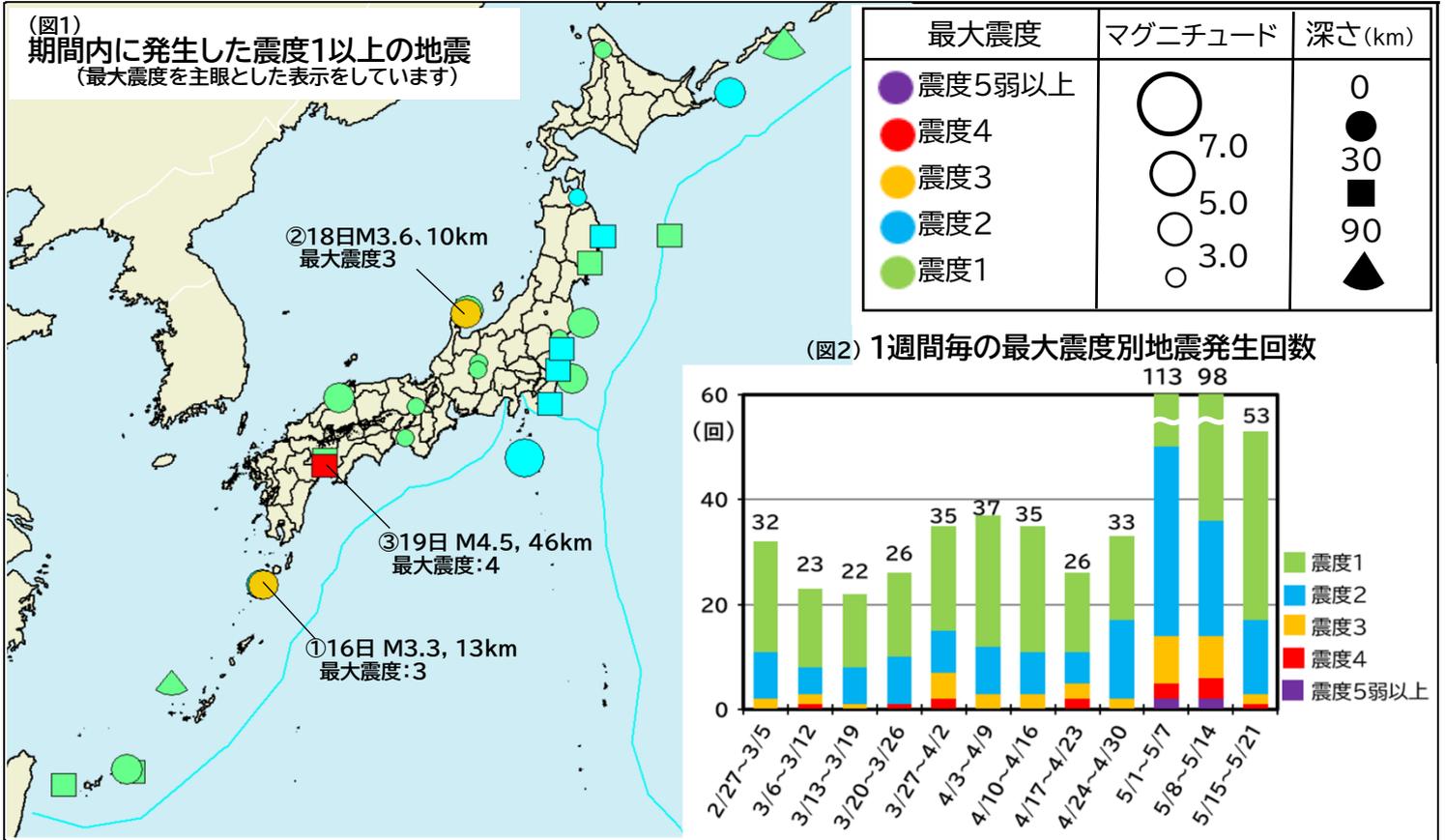


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が53回発生。最大震度は4。■
- ①5月16日01時34分にトカラ列島近海で発生した地震(M3.3、深さ13km)により、鹿児島県十島村中之島で震度3を観測。この期間、震度3が1回、震度2が6回、震度1が13回発生。
- ②5月18日19時49分に石川県能登地方で発生した地震(M3.6、深さ10km)により、石川県珠洲市で震度3を観測したほか、能登地方で震度2～震度1を観測。この期間、震度3が1回、震度2が1回、震度1が5回発生(トピックス参照)。
- ③5月19日06時56分に豊後水道で発生した地震(M4.5、深さ46km)により、愛媛県伊方町で震度4を観測したほか、中国地方、四国地方、九州地方で震度3～1を観測。

トピックス

■ 珠洲市の被害状況 ■

- ・5月5日に石川県能登地方で発生した地震(M6.5)により大きな被害が発生した石川県珠洲市での被害状況を見てきました。被害の概要や住民の方々にお聞きした防災対応などを以下に記します。
- ・報道から想像していた被害の様相より、家屋被害の程度が大きく、かつ、家屋被害の数が多かった。
- ・家屋倒壊や傾き等の大きな被害は正院町地区に集中していた(図3)。
- ・正院町地区の中でも海岸に近い地域で被害が大きい。
- ・正院町地区は、木造在来工法で地元特有の能登瓦葺き屋根、2階建て、土壁の建物が立ち並んでいる。築約40年～70年程度のものが多いようだ。
- ・昨年6月の地震など、最近の地震活動を契機に家具固定を実施して被害軽減につながったとの話を多く聞いた。
- ・上記地震を契機に住宅耐震補強工事を実施したことによる減災効果は大であることを実感したとの話を聞いた。
- ・新・旧耐震基準の違いによる被害の程度には明瞭な差がある。
- ・正院町地区で建物被害が多い原因としては、地面が柔らかく揺れやすい地盤であること及び古い木造家屋に大きなダメージを与える周期で揺れたことなどが考えられる。
- ・大別すると、以下のような被害が発生していた。
 - ・耐震性の低いとみられる家屋の倒壊・損壊
 - ・ブロック塀の損壊・倒壊
 - ・屋根瓦・窓ガラスなどの落下・ズレ
 - ・鳥居、狛犬などの倒壊・転倒
 - ・斜面崩壊

